

# Abnormal light-dark cycle housing attenuates day/night rhythm of Per1, Per2, and Bmal1 clock gene expression in the mouse amygdala and hippocampus

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 守谷, 俊平 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30639">http://hdl.handle.net/10470/30639</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 571 号	氏 名	守 谷 俊 平
審 査 委 員 会	主 査 教 授	石 郷 岡 純	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>うつ病でさまざまな生体リズム異常が報告されている一方、リズム障害が気分の障害を引き起こすことも知られている。申請者は、光リズムの変調が時計遺伝子及び気分症状に及ぼす変化を探索する目的で、3.5 時間の明暗周期を導入したマウスを用い検討した。その結果、扁桃体および海馬において、Per1,Per2mRNA 発現の日内変動振幅の減少、及び Per1,Per2mRNA 発現の有意な減少が認められた。また、免疫染色法でも扁桃体 PER2 陽性細胞数は有意に上昇し、PER2 陽性細胞日内変動振幅も増大していた。さらに、強制水泳試験では不動時間の上昇が認められた。</p> <p>本研究は、本飼育条件で時計遺伝子発現の異常とうつ状態の惹起を示した最初の報告で、生体リズム異常と気分障害の研究分野に多大な貢献をしたものであり、学位授与に値するものと考えられた。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			